

# イノベーション・コースト構想の推進について

平成29年2月11日

福 島 県



福島県復興シンボルキャラクター  
「ふくしまからはじめよう。キビタン」



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.

## I. 県の実施状況

1. ロボット分野	1
2. エネルギー分野	4
3. 農林水産分野	7
4. 環境・リサイクル分野	10
5. 情報発信拠点（アーカイブ）	12

## II. 県の今後の進め方

6. イノベーション・コースト構想の推進強化	13
7. 平成29年度イノベーション・コースト構想推進関連“県事業”	15

# I . 県の取組状況



**【概要】**○南相馬市及び浪江町に立地が決定したロボットテストフィールド及び国際産学官共同利用施設の設計業務に着手したほか、県内大学、企業等が取り組むロボット開発の助成、災害対応等ロボットの導入補助や、ロボットフェスタ、ドローンレースの開催などを実施。

### イノベーション・コースト構想拠点整備事業

物流・インフラ点検・災害対応などに使用される陸海空のフィールドロボットを対象としたロボットテストフィールドと、ロボット分野の先進的な共同研究を行うロボット国際産学官共同利用施設を整備する。  
○場所 南相馬市(一部附帯施設 浪江町) 約50ha  
○平成30年度順次開所予定



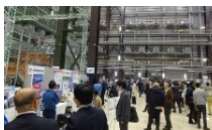
### ロボットフェスタふくしま開催事業

若い世代の関心を高めるため、最先端のロボットや県内で開発を進める各種ロボットの展示等を行う。  
○期日 平成28年11月19日(土)  
○場所 ビッグパレットふくしま(郡山市)  
○来場者 約7,200人  
【同時開催】航空宇宙フェスタふくしま



### 廃炉・除染ロボット技術研究会

H25.6.18設立 会員:約150機関  
・産学官連携ネットワーク形成  
・技術開発支援  
・プラントメーカー等とのマッチング  
◎12.7 廃炉・除染ロボット関連技術展示実演会  
○場 所 檜葉遠隔技術開発センター  
○来場者 東電、東電安全推進協議会会員等539名



### 成長産業等人材育成事業

テクノアカデミーにおいて、ロボット関連産業等に対応したカリキュラムによる人材育成を行う。

### ロボット関連産業基盤強化事業

ロボットの要素技術の開発や実証を行う県内に本社、研究拠点、生産拠点が所在する企業に対し補助を行うとともに技術力向上のための支援を行う。  
○補助率: 中小企業 事業費(上限1千万円)の3/4  
大企業 事業費(上限1千万円)の2/3  
○採択数: 11件(第1次:9件 第2次:2件)  
○企業向けセミナー開催(11月19日 ロボットフェスタふくしま会場)



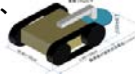
### 産学ロボット技術開発支援事業

会津大学と県内企業との連携により、情報通信技術を核とした災害対応等ロボットの開発を行うとともに、ロボットのソフトウェア開発運用基盤を先端ICTラボに整備し開発支援を行う。



### 被災地支援ロボット開発事業

ハイテクプラザと農業総合センターの共同研究により、電気防獣柵の漏電検出・通報装置と防獣柵の漏電予防用自走式電気防獣柵除草ロボットを研究開発する。



### フィールドロボット研究開発事業

ハイテクプラザにおいて配管内洗浄ロボットの開発を行う。  
配管洗浄イメージ



### 地域復興実用化開発等促進事業

浜通り地域の地元企業との連携等による地域振興に資する実用化開発等の費用を補助する。  
○補助率: 大企業1/2、中小企業2/3  
○対象分野 廃炉、ロボット、エネルギー、環境、農林水産業等  
○ロボット分野採択: 15件(第1次:12件 第2次:3件)

### 外資系企業投資促進支援事業(進出企業投資支援事業)

本県に進出する海外企業に対し、土地建物等の賃借料、設立手続・在留資格取得・職員採用等に関する経費を補助する。  
○補助先 外資系企業、補助率 3/4以内(上限28,000千円)  
○ロボット分野採択: 1件

### 災害対応等ロボット導入事業

県産ロボットの導入補助によって、県内企業のロボット関連産業への参入意欲を高め、その産業集積を図る。  
○補助先: 県内外企業等、補助率: 1/2  
○公募期間: 7/29~1/31  
○対象: ①県内で生産されるロボット  
②用途: 災害対応、廃炉、インフラ点検、測量、農業散布等

### 介護支援ロボット導入モデル事業 医療施設用ロボット導入モデル事業

○介護施設等で介護支援ロボットを試験的に導入するモデル事業を実施する。  
○医療施設で動作支援ロボットを試験的に導入するモデル事業を実施する。

### 農林水産分野イノベーション・プロジェクト推進事業

中型ロボットトラクタや法面除草ロボット等の開発・現地実証に着手。

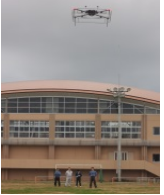
### ドローンレース×神旗争奪戦

○期日: 平成28年11月6日(日)  
○場所: 雲雀ヶ原祭場地  
○内容: ドローンによる神旗争奪戦  
○来場者: 約2,000名



### 福島浜通りロボット実証区域

浜通り15市町村の公共施設等をロボット実証試験場所として提供。  
○公募開始: H27.4.1~  
○提供施設: 10件(3市町)  
○試験実施件数: 17件



**【概要】**○平成30年度からの段階的開所に向けて、ロボットテストフィールド及び国際産学官共同利用施設の整備を着実に進めるとともに、ロボットの実証試験や訓練の場所を提供する。また、地元企業等との連携等による実用化開発の補助を引き続き実施する。

## 関連拠点の整備

ロボットテストフィールド整備等事業 【2,633,679千円】

### ロボットテストフィールドの整備

無人航空機や災害対応ロボット等の実証試験が行えるロボットテストフィールドを整備する。

- 場所 南相馬市（一部附帯施設 浪江町）  
約50ha
- 時期 平成30年度順次開所予定



### 国際産学官共同利用施設の整備

浜通り地域においてロボット分野の先進的な共同研究を行う国際産学官共同利用施設（ロボット）を整備する。

- 場所 ロボットテストフィールド敷地内



### 実証試験の環境整備

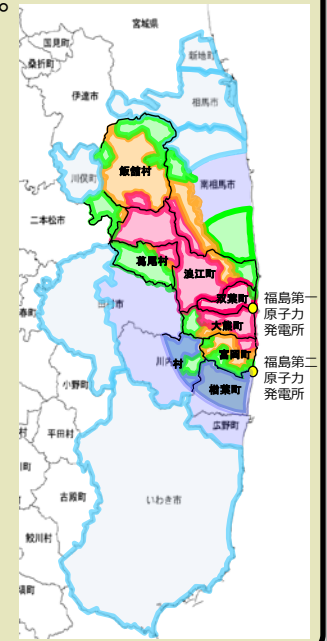
福島浜通りロボット実証区域  
浜通り地域の施設・エリアをロボットの実証試験や訓練場所として提供する。

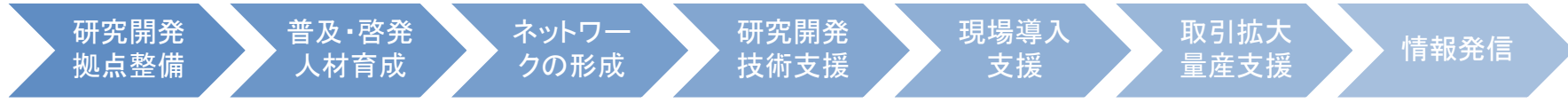
## 実用化開発の補助

地域復興実用化開発等促進事業  
【6,970,026千円】

イノベーション・コースト構想の重点分野（ロボット、エネルギー、農業など）について、地元企業との連携等による地域振興に資する実用化開発等の費用を補助する。

- ① 浜通り地域で実施される実用化開発等
- ② 国際産学官共同利用施設への入居による実用化開発等





## ロボットテストフィールド整備等事業 【2,633,679千円】

物流・インフラ点検・災害対応などに使用される陸海空のフィールドロボットを対象としたロボットテストフィールドとロボット分野の先進的な共同研究を行う国際産学官共同利用施設を整備する。

- 場所 南相馬市(一部附帯施設 浪江町) 約50ha
- 時期 平成30年度順次開所予定



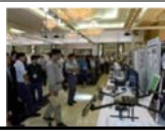
## ロボットフェスタふくしま開催事業【32,537千円】

若い世代を対象に最先端のロボットや福島県内で開発を進める各種ロボットの展示等を行うとともに、企業向け商談会を開催する。

- 期日 平成29年11月22日(水)、23日(木)
- 場所 ビッグパレットふくしま(郡山市)
- 内容 企業向け商談会、産業用や一般向けロボットの展示・実演、操作体験、工作教室、講演など  
※航空宇宙フェスタふくしま(同時開催)

## 新・ふくしまロボット産業推進協議会(仮称)開催事業 【9,998千円】

産学官連携のもとロボット産業の集積を図るため「ふくしまロボット産業推進協議会(仮称)」を設立し、展示会出展やマッチング支援等の事業を実施する。



## 成長産業等人材育成事業【9,901千円】 新・ふくしま地域創生人材育成事業【104,977千円】

テクノアカデミーにおいてロボット関連産業等に対応した人材育成を行うとともに、新たに、ロボット関連産業などの成長産業やものづくり分野を対象に、産学官連携による地域ニーズに対応した人材育成の取組を行う。

## ロボット関連産業基盤強化事業【76,058千円】

ロボットの要素技術の開発や実証を行う県内に本社、研究拠点、生産拠点が所在する企業に対し補助を行うとともに、技術力向上のための支援を行う。

- 補助率: 中小企業 事業費(上限1千万円)の3/4  
大企業 事業費(上限1千万円)の2/3

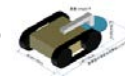
## 産学ロボット技術開発支援事業【247,743千円】

会津大学と県内企業との連携により、情報通信技術を核とした災害対応等ロボットの開発を行うとともに、ロボットのソフトウェア開発運用基盤を先端ICTラボに整備し開発支援を行う。



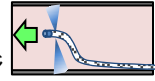
## 被災地支援ロボット開発事業【11,325千円】

ハイテクプラザと農業総合センターの共同研究により、電気防獣柵の漏電検出・通報装置と電気防獣柵の漏電予防のための自走式電気防獣柵除草ロボットを研究開発する。



## フィールドロボット研究開発事業【20,371千円】

ハイテクプラザにおいて配管内洗浄ロボットの開発を行う。



## 地域復興実用化開発等促進事業【6,970,026千円】

浜通り地域の地元企業との連携等による地域振興に資する実用化開発等の費用を補助する。

- 補助率: 大企業1/2、中小企業2/3
- 対象分野 廃炉、ロボット、エネルギー、環境、農林水産業等

## 外資系企業投資促進支援事業(進出企業投資支援事業) 【110,892千円】

本県に進出する海外企業に対し、土地建物等の賃借料、設立手続・在留資格取得・職員採用等に関する経費を補助する。

- 補助先 外資系企業
- 補助率 3/4以内(上限28,000千円)

## 災害対応等ロボット導入事業 【44,313千円】

県産ロボットの導入補助によって、県内企業のロボット関連産業への参入意欲を高め、その産業集積を図る。

- 補助先: 県内外企業等
- 補助率: 1/2
- 対象: ①県内で生産されるロボット  
②用途: 災害対応、廃炉、インフラ点検、農業散布等



## 介護支援ロボット導入モデル事業 医療施設用ロボット導入モデル事業 【152,879千円】

○介護施設等で介護支援ロボットを試験的に導入するモデル事業を実施する。  
○医療施設で動作支援ロボットを試験的に導入するモデル事業を実施する。

## 農林水産分野イノベーション・プロジェクト推進事業【145,931千円】

ロボットトラクタや除草ロボット、自動苗木植付機等のロボット技術の開発・実証を行う。

## 福島浜通りロボット実証区域

浜通り15市町村の公共施設等をロボット実証試験場所として提供。

- 公募開始: H27.4.1~
- 提供施設: 10件(3市町)



【概要】○原子力に依存しない「新たなエネルギーの創出」による復興の加速化、地域で生産した「エネルギーの地産地消」、及びエネルギーだけでない「関連産業の集積」による安定した雇用創出を図るため、再エネ発電設備や送電線等の導入を支援するとともに、実用化開発等を支援した。

## ①避難地域・再生可能エネルギー復興支援プロジェクト

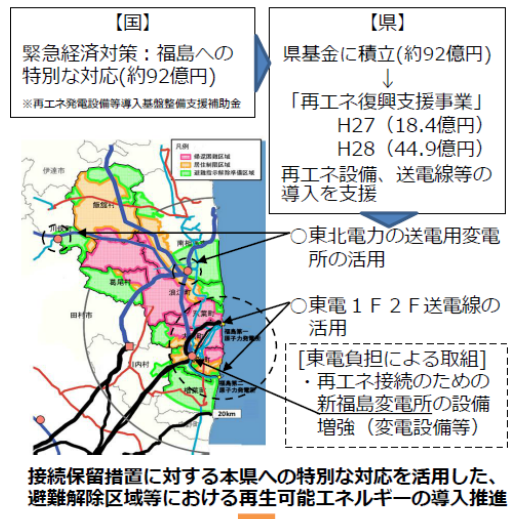
### ○再生可能エネルギー復興支援事業

- ・ 系統接続保留問題を踏まえ、国は本県向けの特別な対応として約112億円を予算措置(H26補正)。県は、そのうち約92億円を避難解除区域等向け補助事業の財源として県基金に積み立て(H26.2月補正)
- ・ 県は当該基金を財源として避難解除区域等を対象とした再エネ発電設備や送電線等の導入を支援
- ・ 東京電力が新福島変電所の改修費用を負担し、不使用送電線を再エネ接続に利用
- ・ 国、県、電気事業者等の協議会を設立し、売電益を活用した復興支援を進める
- 対象地域 避難解除区域等
- 対象者 再エネ発電事業者(復興に寄与する取組必要)
- 補助実績 平成27~28年度 9事業(太陽光8事業、風力1事業、設備容量計 約126MW)を採択、平成28年度より順次着工。
- 事業期間 平成27年度~

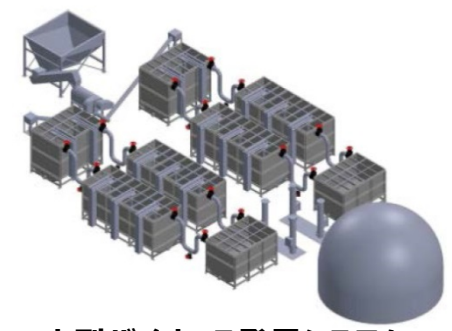
## ②浜通りのポテンシャルを生かした産業の集積

### ○地域実用化開発等促進事業

- ・ 福島県浜通り15市町村において、地域の産業復興の早期実現を図るため、地元企業等との連携等による地域振興に資する実用化開発等を支援
- (主な採択事業)
- 風力発電拠点形成プロジェクト(陸上・洋上)関連
  - ・ 「福島阿武隈、浜通り、風力発電構想の発電タワーの国産化に向けた実用化開発」
  - ・ 「風力発電ブレードの県内生産に向けた製造開発(STEP II)」
- 水素によるエネルギー貯蔵・効率的利用プロジェクト関連
  - ・ 「再生可能エネルギー活用による水素製造システム実用化開発」
- バイオマスプロジェクト(メタン発酵・藻類)関連
  - ・ 「小型バイオマス発電システムの商業化に向けた開発計画」



### 再エネ推進による復興支援



小型バイオマス発電システム



**【概要】**○福島新エネ社会構想に基づき阿武隈山地・沿岸部等における再エネ発電設備や共同送電線等の導入を支援し、浜通り地域の早期の産業復興を実現するため、イノベーション・コースト構想の重点分野について、地元企業との連携等による実用化開発等の補助を行う。

**①避難地域・再生可能エネルギー復興支援プロジェクト**  
**○福島新エネ社会構想再生可能エネルギー導入拡大事業**

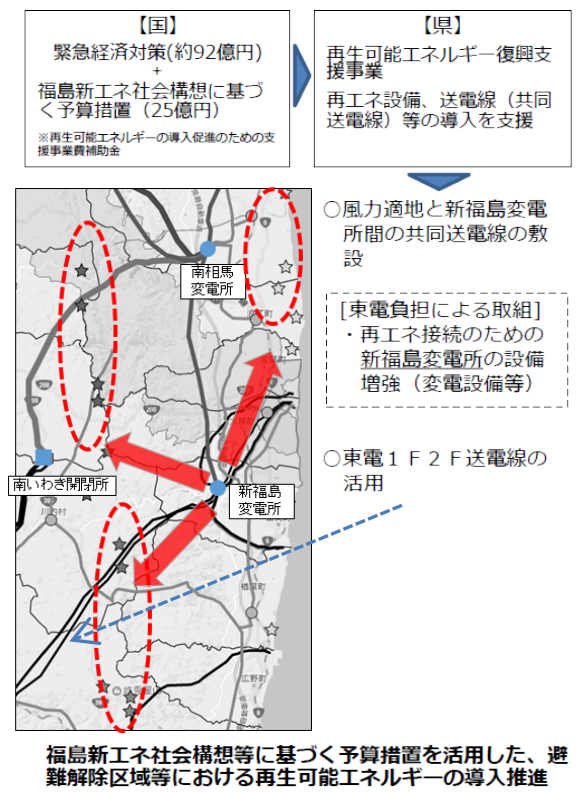
・福島新エネ社会構想に基づく国予算措置(25億円)を財源とした阿武隈山地・沿岸部等における再エネ発電設備や共同送電線等の導入支援。

- 対象地域 阿武隈山地・沿岸部等
- 補助率
  - ① 再エネ設備等 1/10
  - ② 蓄電池・共同送電線等 1/2
- 事業期間 平成29年度～

**②浜通りのポテンシャルを生かした産業の集積**  
**○地域復興実用化開発等促進事業**

・イノベーション・コースト構想の重点分野について、地元企業との連携等による実用化開発等を促進し、浜通り地域の早期の産業復興を実現すべく、①浜通り地域において実施される実用化開発等、②国際産学官共同利用施設への入居による実用化開発等などの費用を支援する。

- 補助率 大企業1/2、中小企業2/3
- 対象分野 「ロボット」、「エネルギー」、「環境・リサイクル」、「農林水産業」、「環境回復、放射線関連」、「医学(医療機器等)」等



**再エネ推進による復興支援**

## ○福島新エネ社会構想等推進技術開発事業 359,684千円

福島新エネ社会構想の実現のため、産学官の連携により県内企業の技術高度化等を支援し、再生可能エネルギー関連産業の育成・集積を促進する。  
 ・産総研連携強化型技術開発事業  
 ・浮体式洋上風力発電実証研究促進事業

## ○再生可能エネルギー復興支援事業 7,407,827千円

避難解除区域等における再生可能エネルギーの導入推進を図るため、発電設備等の導入に要する経費の一部を補助する。

## ○チャレンジふくしま再生可能エネルギー普及拡大事業 979,303千円

本県を名実ともに再生可能エネルギー先駆けの地とするため、地域と共生する再生可能エネルギー事業の立ち上げを事業ステージに応じて支援するとともに、家庭や地域における導入を促進する。

## ○水素エネルギー普及拡大事業 115,000千円

福島新エネ社会構想の取組の柱の一つである「水素社会実現のモデル構築」に向けて、県内における水素ステーションの導入、FCV(燃料電池自動車)の導入等の推進を図る。

## ○再生可能エネルギー市町村支援事業 25,079千円

県等が再生可能エネルギーの推進機関として設立した福島発電株式会社に専門的知見を有する「福島県再生エネ復興支援員」を設置し、市町村が復興事業として計画する再生可能エネルギー事業の実現を図る。

## ○地域復興実用化開発等促進事業 6,970,026千円

浜通り地域の早期の産業復興を実現するため、イノベーション・コースト構想の重点分野について、地元企業との連携等による実用化開発等の補助を行う。



### 地域復興実用化開発等促進事業イメージ

ロボット技術等イノベーション・コースト構想の重点分野(\*)について、地元企業との連携等による地域振興に資する実用化開発等の費用を補助します。  
 \* 廃炉、ロボット、エネルギー、環境・リサイクル、農林水産業、医療機器等の分野を言います。

**【支援対象となる実用化開発等】**  
 福島県浜通り地域において実施される実用化開発等

- 地元企業等  
 補助率 大企業1/2、中小企業2/3
- 地元企業等と連携して実施する企業  
 (全国の企業が対象)  
 補助率 大企業1/2、中小企業2/3

**【採択プロジェクトの例】**

<p>【ロボット分野】</p> <p>災害救援物資輸送タクトド・ファンUAVの開発</p>	<p>【医療機器等分野】</p> <p>歩行支援ロボットの社会実装に向けた製品化モデルの開発</p>
---	--

**凡例**

- 単独開発区域
- 産学官連携区域
- 産学官連携推進区域

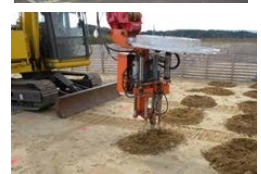
**【概要】**○避難地域等における農林水産業の再生に向け、担い手不足に対応した省力化や効率化等を図るため、ロボットトラクタ等の開発実証に取り組むとともに、ICTによる環境制御型園芸施設等の整備を推進した。

## 8つのプロジェクト

- 1 水稲超省力・大規模生産プロジェクト
- 2 畑作物大規模生産プロジェクト  
ロボット等により、生産コストの低減と安定した収益が確保できる新しいモデルを構築する。
- 3 環境制御型施設園芸構築プロジェクト  
ICTを活用した生育条件の管理や省力化を図る。
- 4 フラワー・コースト創造プロジェクト  
風評の影響を受けにくい「花き」等の大規模生産や付加価値の高い鉢花等の生産を推進する。
- 5 阿武隈高地畜産業クラスタープロジェクト  
先端技術を活用した大規模経営モデルを構築する。
- 6 県産材の新たな需要創出プロジェクト  
林業用ロボットやCLT等の新技術と木質バイオマスが牽引する森林再生と林業振興を推進する。
- 7 水産研究拠点整備プロジェクト  
水産研究拠点を整備し、海洋における放射性物質対策等の研究・情報発信を行う。
- 8 作業支援プロジェクト  
作業の軽労化、省力化を提供できる農林漁業作業支援ロボットを開発・導入する。

## 取組状況と課題

- (取組内容) 中型ロボットトラクタと法面除草ロボットの開発・現地実証に着手  
(課題) 実用化に向けた開発機の改良と更なる技術開発及び作業上の問題抽出と解決
- (取組内容) ICT等を活用した環境制御型施設の導入(いわき市:トマト16,896㎡ 南相馬市:トマト他24,388㎡)  
(課題) コストの低減、販路の安定確保
- (取組内容) 花き品目の導入と施設の整備(飯舘村:かすみそう 2,292㎡、トルコギキョウ 1,404㎡)  
(課題) 浜通りの気象を活かした出荷時期拡大技術の開発、生産施設の整備と生産拡大、集出荷体制の整備
- (取組内容) 大規模繁殖経営体を支援する個体一元管理システムの開発  
(課題) 現地実証によるシステムの改良
- (取組内容) 苗木植栽ロボット、CLT建築物、メタンガス製造の実証を実施  
(課題) 苗木植栽ロボットの海岸防災林造成地特有の条件に対応した改良
- (取組内容) 水産種苗研究・生産施設、水産試験場の整備・機能強化  
(課題) 竣工に向けた工程管理の強化
- (取組内容) 農業用アシストスーツと水田除草ロボットの現地実証等を実施  
(課題) 実用化に向けた更なる改良



【概要】○引き続き、本地域に適した先端技術の開発実証に取り組むとともに、営農再開に向けた施設等の整備を支援する。

<p>(1) ロボットトラクタの開発・実証 (H28～H29)</p>	<p>(2) 法面除草ロボットの開発・実証 (H28～H30)</p>	<p>(3) 家畜の個体一元管理システムの開発・実証(H28～H29)</p>
<p>(取組内容) 開発したロボットトラクタを用い、代かき、施肥、は種等の作業の現地実証を行う。</p> <p>(実証場所) 南相馬市ほか</p> <p>(普及対象地域) 対象15市町村</p>  <p>ロボットトラクタ</p>	<p>(取組内容) 開発した除草ロボットを用い、形状や草種の異なる法面での現地実証を行う。</p> <p>(実証場所) 飯舘村ほか</p> <p>(普及対象地域) 阿武隈高地ほか</p>  <p>除草ロボット</p>	<p>(取組内容) H28年度に開発した一元管理システムの現地実証。</p> <p>(実証場所) 葛尾村もしくは飯舘村</p> <p>(普及対象地域等) 阿武隈高地を中心とした畜産農家</p>  <p>システム画面イメージ</p>
<p>(4) 苗木植栽ロボットの開発・実証 (H28～H30)</p>	<p>(5) 農業用アシストスーツの開発・実証 (H27～H29)</p>	<p>(6) 水田除草ロボットの開発・実証 (H27～H29)</p>
<p>(取組内容) 改良型ロボットの作製・現地実証とベースマシンの検討。</p> <p>(実証場所) 南相馬市</p> <p>(普及対象地域) 浜通り</p>  <p>海岸防災林での試験</p>	<p>(取組内容) 浜通り等において、幅広い品目、被験者等で実証を行い、商品化と普及を促進する。</p> <p>(実証場所) 南相馬市等</p> <p>(普及対象地域) 対象15市町村</p>  <p>アシストスーツ</p>	<p>(取組内容) 改良型試作機の実規模現地実証と現地検討会を開催し、商品化と普及を促進する。</p> <p>(実証場所) 広野町等</p> <p>(普及対象地域) 対象15市町村</p>  <p>水田除草ロボット</p>

先端技術を活用した農林水産業の復興・再生

## 【先端技術の開発・実証】

### (1) 農林水産分野イノベーション・プロジェクト推進事業【予算額145,931千円】

浜通り及び避難指示等区域において、ロボット技術やICT等の先端技術を取り入れた先進的な農林水産業を実践することで、農林水産業の復興と再生を図る。

(ロボットトラクタ、除草ロボット、苗木植栽ロボット、農業用アシストスーツ等の開発・実証)

### (2) 先端技術活用による農業再生実証事業【予算額81,392千円】

放射性物質の影響を極力排除した新たな農業の展開による早期復興を目指して先端技術を活用した実証研究を実施する。(花き栽培技術や野菜苗生産技術等の実証研究)

### (3) ふくしまアグリイノベーション実証事業【予算額32,275千円】

低コスト・高収益化を可能とする稲作技術と作業の効率化・省力化を可能とするICT技術を組み合わせた営農レベルでのフィールド実証を実施し、大規模経営体の育成を図る。

## 【水産研究拠点の整備】

### (1) 水産試験研究拠点整備事業【予算額779,160千円】

原子力災害に起因する新たな研究課題への対応を行う水産試験場の機能強化を目的とした施設等を整備する(平成29年度実施内容:既存施設解体、本体建設等)。

### (2) 水産種苗研究・生産施設復旧事業【予算額4,104,010千円】

本県水産業の復興に不可欠な栽培漁業の再構築のため、水産種苗研究等、資源の持続的利用・経営安定向上のための技術開発・研究を行う拠点施設を整備する(平成29年度実施内容:本体建設等)。

## 【先端技術の普及】

### (1) 福島再生加速化交付金(帰還環境整備)【予算額80,700,000千円の内数】

農林水産業の再開に必要な施設等を整備する。

#### ① 被災地域農業復興総合支援事業

農業用機械や生産・加工・流通・販売に必要な農業用施設等を整備する。

#### ② 木質バイオマス施設等緊急整備事業

木質バイオマス関連施設、木造公共建築物、再生可能エネルギー導入調査設計・施設を整備する。

【概要】

- 4つのテーマ毎にWGを設置し、関連企業による協業の可能性について検討。
- OWGによっては、実証・事業化に向けた進捗に差が生じていることが課題。

ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会

会長：東北大学 中村教授  
事務局：福島県（商工労働部産業創出課）

運営委託

スズクホールディングス(株)  
(協力：(株)環境ビジネスエージェンシー)

連絡・調整・会議手配、進捗管理、資料作成等

WG運営委員会

委員長：中村研究会長  
H27年度 事業化推進会議メンバー

WG方向性・運営方法等決定  
WG進捗管理

オブザーバー

有識者（中村会長から紹介）  
H27年度 事業化推進会議メンバー  
その他、各WGに特化した関係者

相談 ▲ ▼ 助言等

石炭灰リサイクル  
事業化WG

リーダー：  
(一財)石炭灰  
エネルギーセンター

石炭灰リサイクル製品の販路拡大・無害化技術の検討

小型家電リサイクル  
事業化WG

リーダー：  
(株)高良

小型家電リサイクルにおける  
浜通り版回収モデルの構築  
等検討

太陽光パネルリサイクル  
事業化WG

リーダー：  
(株)リビングソーラー  
サブリーダー：  
(株)ケイコーポレーション

太陽光パネルのリユース・リ  
サイクルシステム（ワンストッ  
プ）の在り方検討

浜通りにおける廃棄物  
処理システム構築WG

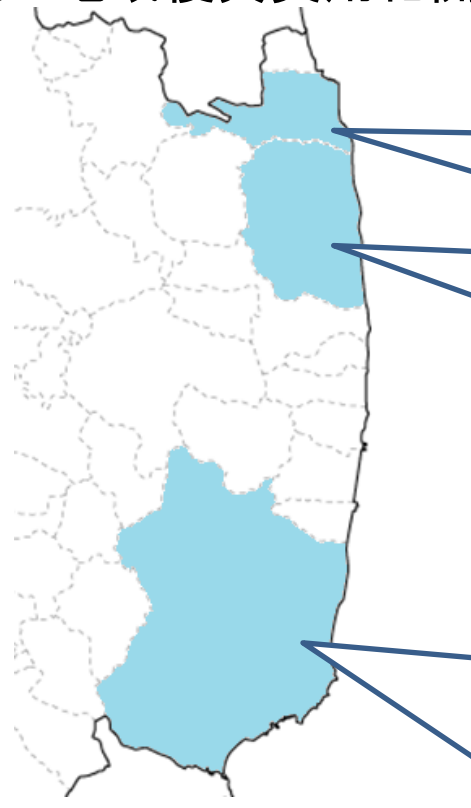
リーダー：  
太平洋セメント(株)

浜通りにおける廃棄物処理  
システムの検討

## 【概要】

○地域復興実用化開発等促進事業及びふくしま環境・リサイクル関連産業研究会のネットワークを活用し、浜通りにおける実証を加速していく。

## ○ 地域復興実用化開発等促進事業(平成28年度採択事業)



**【相馬市】**  
・地域の再生可能エネルギーの最大活用を目指した下水汚泥処理システムの実用化開発[IHI]

**【南相馬市】**  
・石炭灰リサイクル製品(再生砕石)製造技術の開発[福島エコクリート他]  
・総合リサイクルセンターの処理スキーム開発[高良他]

**【いわき市】**  
・新技術によるレアメタルリサイクル実証事業[アサカ理研]  
・新たな環境適合性プラスチックの開発、  
環境配慮型合成樹脂製造プロセスの開発[クレハ]  
・炭素繊維リサイクル技術の実証開発、  
難処理廃プラスチック製品のリサイクル[クレハ環境]  
・植物由来・持続型資源新素材「ケナフ・ナノセルロース」の混合技術の実用化開発  
[トラスト企画]

○ 環境・リサイクル関連産業推進事業(約15,000千円/平成29年度県予算案)  
...個別プロジェクトに対する技術的な実現性、採算性などの課題を具体的に抽出・整理

【概要】 ○原子力災害の実態と復興への取組を、国や世代を超えて継承・共有していくための情報発信拠点（アーカイブ）施設を、双葉町中野地区において整備する。平成32年度の運営開始を目指す。

## 【アーカイブ拠点施設概要】

### 《基本理念》

世界初の甚大な複合災害を経験した福島



この災害からの復興拠点として  
人々が集うシンボルとなる場

原子力災害と復興の記録や教訓の  
未来への継承・世界との共有

福島にしかない原子力災害の  
経験や教訓を活かす  
防災・減災

福島に心を寄せる人々や団体と連携し、  
地域コミュニティや文化・伝統の再生、  
復興を担う人材の育成等による  
復興の加速化への寄与

### 《事業活動方針》

ふくしまの経験、そこから得た教訓を後世に残すため、  
共にこの災害を経験し、立ち向かった県民の力  
“オール福島”の参加・協力で4つの事業を実践します。

原子力災害の教訓を伝え、  
未来の安全へつなげる

- ・展示や資料を活用した原子力防災研修の実施
- ・他施設との連携、共同研修など、目的にあわせたメニューの展開

リアルな展示と体験・プレゼン  
による福島にしかないプログラ  
ムの提供

- ・蓄積された資料、証言に基づく展示
- ・原子力防災の蓄積型、体験型の学習
- ・県民参加による生の声、想いの発信
- ・現在進行形である原子力災害の訴求



唯一無二の記録・記憶の蓄積と  
後世に伝えるための保存

- ・県民インタビューによる災害の記憶の収集、保存
- ・災害対応の記録(行政、企業、個人)の収集、保存

関連資料の収集と保存、収録。  
オーラルヒストリー等の  
記憶も残す

経験を教訓に生かす  
人材の育成とネットワーク化

- ・原子力災害やその教訓（例：防災）に関する調査・研究
- ・上記人材の育成と専門分野別の調査研究の継続的な推進

原子力災害の教訓を活かし  
原子力防災などの充実・強化と  
専門分野の人材の育成につなげる

福島県の「光と影」を伝え、  
今、そしてこれからの福島を  
プレゼンテーションする

### 【スケジュール】



### 【平成29年度県予算】

- アーカイブ拠点施設整備事業【245,000千円】  
施設及び展示について基本設計及び実施設計を行う
- アーカイブ拠点施設設置準備事業【108,234千円】  
震災資料の収集や分類、シポジウムの開催や学習書籍の作成を行う



## Ⅱ. 県の今後の進め方



- 福島特措法改正により、**福島国際研究産業都市構想の推進が法定化（国が推進体制を強化）**。
- 「浜通り地域再生のエンジン」である本構想の実現に向け、新年度より、**県としても**  
**①戦略・企画推進機能強化、②中核的機能を担う推進法人設立、③地元産学官の連携協議体創設**に取り組む。
- 研究会報告からおよそ3年、あらためて国、市町村、大学、研究機関、企業等の**関係者間で、世界が注目する浜通りの再生を共通目標**として連携を一層強化し、**構想の早期具体化を強力に推進**する。

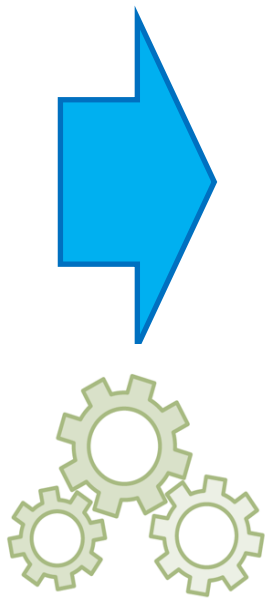
## 〈国〉福島特措法改正法案 (H29.2.10法案閣議決定【予定】)

### 1. 重点推進計画に構想の推進を位置付け

- ① 重点推進計画に、次の記載を可能とする
  - 福島国際研究産業都市区域
  - 区域において推進する取組
    - ・ 研究開発拠点の整備
    - ・ 当該拠点の周辺的生活環境整備
    - ・ 本区域への来訪の促進
    - ・ 県や市町村の相互間の連携強化 等
- ② 重点推進計画の総理大臣認定後に活用可能な特例
  - 特許料等の減免
  - 国有試験研究施設の低廉使用
- ③ 国、県、市町村、事業者等の連携の強化の施策

### 2. 福島復興再生協議会の下に分科会創設

- 福島復興再生協議会の下に、本構想を関係機関等が連携して推進するための分科会（協議会）を新設



**関係者の  
連携強化**

## 〈県〉新年度の構想推進の3つの新たな取組

### 1 戦略・企画推進機能の強化

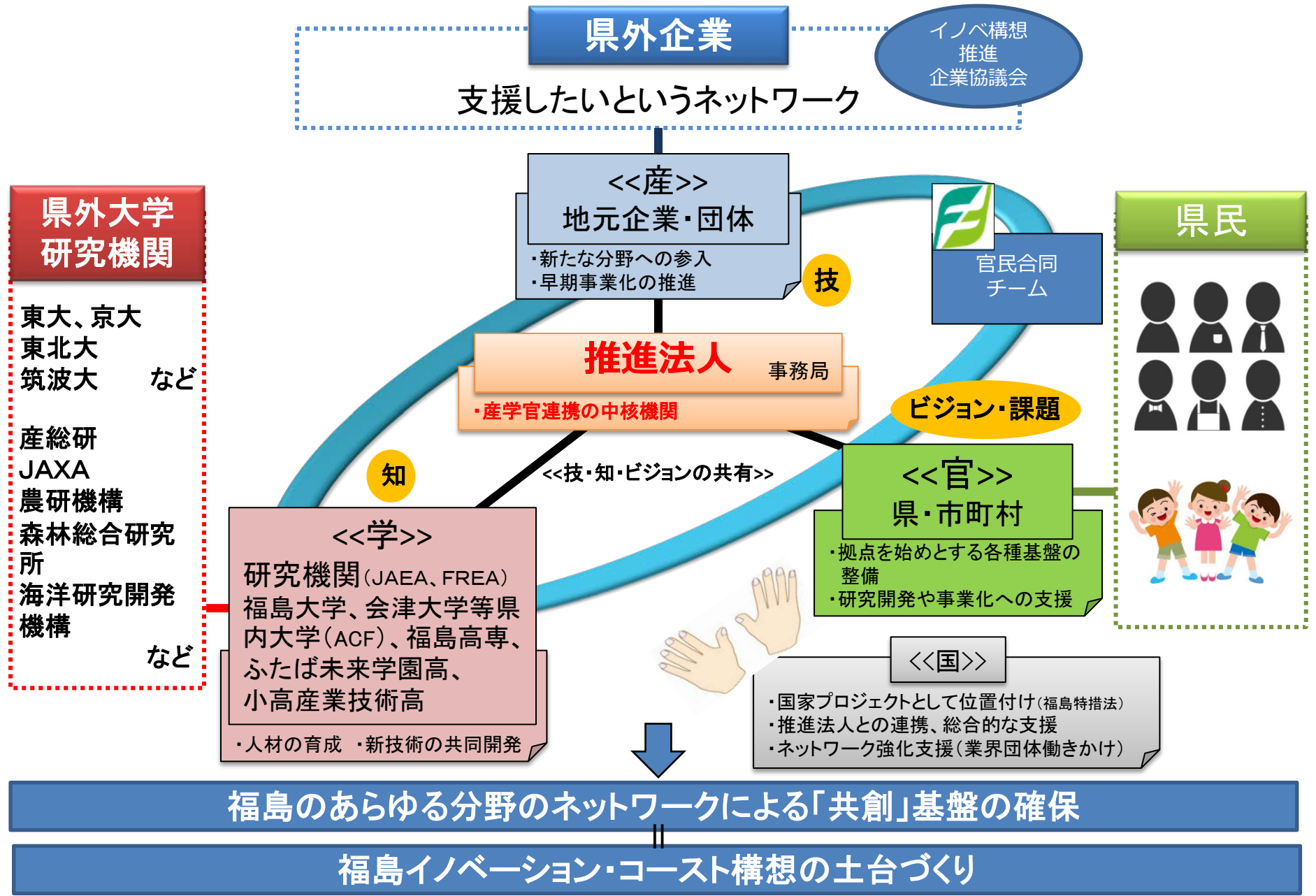
- ・ 国際研究産業都市推進監の新設 [新年度から]
  - ・ 庁内検討体制の強化 [新年度から]  
(推進本部体制、課長級の**戦略会議**創設を検討)
  - ・ 市町村等との協議体制の発展強化 [新年度中]  
(現行「県・市町村検討会議」を機能強化する方向)
- ⇒ **新「重点推進計画」策定に地元一丸で対応**

### 2 構想を推進するための法人の設立

- ・ 関係する産学官の様々な主体間の連携推進等、中核的な機能を担う**推進法人**を設立 [新年度中]  
(改正法施行後に、一般財団法人を想定)
- ⇒ **拠点運営、情報発信・交流事業を一体で推進**

### 3 地元産学官の連携協議体の創設

- ・ 国、市町村、企業、研究機関、大学等、産学官が一体となって、**構想具体化による福島の将来像を共に協議**する場を創設 [新年度中]
- ⇒ **地元の仲間の輪をつくり、マッチングを促進**



**県：平成29年度 イノベーション・コースト構想関連予算 700億円程度**  
～ 浜通りの産業・雇用の回復と効果の全県波及を目指して ～

**1.ロボット関連 [32.2億円]**

- 商工労働部
  - ・ロボットテストフィールド整備等事業 [26.3億円]
  - ・チャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業 [4.4億円]
- 保健福祉部
  - ・チャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業 [1.5億円] 等

**2.スマート・エコパーク関係 [0.2億円]**

- 商工労働部
  - ・環境・リサイクル関連産業推進事業 [0.2億円]

**3.エネルギー関連 [89.0億円]**

- 企画調整部
  - ・水素エネルギー普及拡大事業 [1.2億円]
  - ・再生可能エネルギー復興支援事業 [74.1億円]
  - ・再生可能エネルギー市町村支援事業 [0.3億円]
  - ・チャレンジふくしま再生可能エネルギー普及拡大事業 [9.8億円]
- 商工労働部
  - ・福島新工社会構想等推進技術開発事業 [3.6億円] 等

**4.農林水産関連 [105.7億円]**

- 農林水産部
  - ・農林水産分野イノベーション・プロジェクト推進事業 [1.5億円]
  - ・先端技術活用による農業再生実証事業 [0.8億円]
  - ・ふくしまアグリイノベーション実証事業 [0.3億円]
  - ・水産試験研究拠点整備事業 [7.8億円]
  - ・水産種苗研究・生産施設復旧事業 [41.0億円]
  - ・被災地域農業復興総合支援事業 [54.3億円] 等

**5.情報発信拠点(アーカイブ) [3.6億円]**

- 文化スポーツ局
  - ・アーカイブ拠点施設整備事業 [2.5億円]
  - ・アーカイブ拠点施設設置準備事業 [1.1億円]

**[関連]支援事業等 [228.2億円]**

- 企画調整部
  - ・福島・国際研究産業都市構想推進事業 [0.7億円]
- 生活環境部
  - ・被災地域生活交通支援事業 [0.4億円]
- 商工労働部
  - ・地域復興実用化開発等促進事業 [69.7億円]
  - ・外資系企業投資促進事業 [1.2億円]
  - ・原子力被災地等企業立地促進事業 [0.1億円]
  - ・原子力災害被災事業者事業再開等支援事業 [36.0億円]
  - ・原子力災害被災地域創業等支援事業 [1.2億円]
- 農林水産部
  - ・原子力被災12市町村農業者支援事業 [17.4億円]
  - ・福島県営農再開支援事業 [58.2億円]
- 教育庁
  - ・双葉郡中高一貫校設置事業 [41.5億円]
  - ・小高統合高等学校設備整備事業 [1.1億円]
  - ・双葉・南相馬教育復興推進事業 [0.7億円] 等

**[関連]インフラ等 [247.5億円]**

- 企画調整部
  - ・Jヴィレッジ復興・再整備事業 [31.1億円]
- 土木部
  - ・ふくしま復興再生道路整備事業 [213.4億円]
  - ・復興祈念公園整備事業 [3.0億円] 等